

大腿骨近位部骨折で治療を受けられる患者さまへ

「日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指した ナショナルデータベースの作成」研究実施についてのお知らせ

研究機関 姫路医療センター 整形外科
研究責任者 小豆澤 勝幸
研究担当者 渡邊 晋太、勝田 良

このたび、姫路医療センター整形外科（以下、当院）では、大腿骨近位部骨折（脚の付け根の骨折）で治療された患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報から必要な情報を取り出し、まとめることにより行われるものです。このような研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することで対象となる患者さんのお一人ずつから直接ご同意をいただく前に実施することができます。研究対象となる患者さんにはこのお知らせをもって研究内容の情報公開とさせていただきます。何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

なお、この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。あなたの情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

記

1. 研究課題名

「日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したナショナルデータベースの作成」

この研究課題については、国立長寿医療研究センター倫理・利益相反委員会による倫理審査を経て、姫路医療センター（院長）の実施許可を受けております。

2. 研究の目的及び意義

この研究の目的は、大腿骨近位部骨折の治療経過に関する大規模データベースを作り上げることです。「骨折」は介護を要する原因となることもあり、高齢化が進行するなか脆弱性骨折（骨が弱くなり軽微な外力で発生する骨折）への対策が求められています。大腿骨近位部骨折の治療に関する全国規模のデータベースを作り上げ、地域、病院間、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討を行うことは、この骨折治療の有効な治療法や二次骨折予防対策を科学的に確立するために大変有用です。私どもは、日本脆弱性骨折ネットワークが作りあげるこの大規模データベースに参加・協力し、より良い治療を探って参ります。

3. 研究対象者

本研究の実施許可日～2033年3月の間に姫路医療センター整形外科において、大腿骨近位部骨折の治療を受けられた方を対象とします。手術を受けた方ばかりでなく、受けなかった方も対象となります。

4. 研究実施期間

本研究の実施許可日～10年間（当院では、実施許可日より2033年3月31日まで）

11. 問い合わせ・連絡先（同意しないことの自由について）

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。情報の使用を断られても患者さんに何ら不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もあり、その際にはご説明申し上げます。何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

姫路医療センター 整形外科
研究責任者 小豆澤 勝幸
連絡先（電話番号） 079-225-3211（平日：9時～17時）

12. 研究組織

特定非営利活動法人 日本脆弱性骨折ネットワーク

研究責任者 理事・荒井秀典

研究分担者 理事長・澤口毅

監事・松下隆

理事・山本智章

日本脆弱性骨折ネットワーク事務局

〒950-3304 新潟県新潟市北区木崎761番地

以上

独立行政法人国立病院機構姫路医療センター
整形外科 2023年5月19日作成